

経営実態調査を活用して、通所介護における利用者数増減による収益への影響を考えてみましょう。

令和5年度介護事業経営実態調査結果 第8表 通所介護より作成

(単位：千円)

		R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算
介護事業収入	介護料収入	5,194	5,130	5,087
	保険外収入	349	342	374
	小計①	5,543	5,472	5,461
介護事業費用	人件費	3,514	3,549	3,486
	(人件費/①)	63.4%	64.9%	63.8%
	減価償却費	229	234	207
	その他	1,620	1,650	1,687
	小計②	5,363	5,433	5,380
差引	①－②	180	39	81

延べ利用者数		591.7人/月	584.8人/月
一人当たりの収入		9,270円/日	9,370円/日

通所介護における収益モデルに関して、以下の表を作成してください。  
 ビジネスモデルの特徴や稼働率がなぜ重要になるのか、気づいた点について話し合ってください。  
 また、どのように稼働率を向上させていくかについても、併せて発表してください。



R4年度決算を参考に以下の条件にて、利用者数の増減を比較

1か月あたりの稼働率	80%
営業日数	25日

一日あたりの利用者数		人
定員数		人

1日あたりの利用者数の増減	人数	稼働率	営業日数	延べ利用者数	単価	見込収入(月)	概算費用	差引(月)	年間換算
2	25	86.2%	25						
1	24	82.8%	25						
0	23	79.3%	25						
-1	22	75.9%	25						
-2	21	72.4%	25						

※定員数29人

## ● 介護サービス事業者の方向性の違い（例）

一日あたりの利用者数	23.4	人	584.8人 ÷ 25日
定員数	29.2	人	23.4 ÷ 80%

1日あたりの利用者数の増減	人数	稼働率	営業日数	延べ利用者数	単価	見込収入(月)	概算費用	差引(月)	年間換算
2	25	86%	25	625	9,370	5,856,250	5,380,000	476,250	5,715,000
1	24	83%	25	600	9,370	5,622,000	5,380,000	242,000	2,904,000
0	23	79%	25	575	9,370	5,387,750	5,380,000	7,750	93,000
-1	22	76%	25	550	9,370	5,153,500	5,380,000	-226,500	-2,718,000
-2	21	72%	25	525	9,370	4,919,250	5,380,000	-460,750	-5,529,000



事業性  
評価

事業欲が強く、利用者の確保やサービス利用料が積極的になる（収入の極大化）  
介護への思い入れが強く、ローコスト（人件費・施設運営）の運営も可能

再生  
支援

遵守すべきルールを逸脱していないか？設備投資資金が運転資金に回っていないか？  
無理な経営によって、従業員が離れていないか？利用者や他社からの評価はどうか？